
Re : アリス

なごみ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

Re：アリス

【Nコード】

N0071J

【作者名】

なごみ

【あらすじ】

絶対に、殺す。私の名にかけて、殺す」

そつとつぶやく。

たばこをしたがら煙を

フウ——・・・と、

夜空に舞う煙。

『いいい？このことは忘れなさい。こんなことを引きずっていたら、

なんにもできないわよ？ね？』

強く残った言葉だった。

“——よくに生きていけないわよ”

1：アリスの実行（前書き）

悪口or荒らしなどはご遠慮ください・・・――

血など多少グロい所があります。なのでグロいのが嫌いな方はお引取り下さい。

1：アリスの実行

プロローグ

『私っ！将来の夢は！真人のお嫁さんになることだからねっ！』
約束した。

絶対に、お嫁になようと思ってた。
本気で。

それはある日起きた。

まさか恋人を殺されるなんて

神様の嘘つき

サイアクだよ・・・

私はアリス。犯罪者のアリス。

私が犯罪者になるまで

それは、私の恋人が殺されたこと。

私は、恋人が殺された、ことをきっかけに恋人を殺した犯人を見つけるためにアクになる。

そして、アリスは恋人を殺した犯人にたどりつけるのか？

警察の運命は!?

彼女は歴史に残る史上最悪の犯罪者。

「アリスは、警察なんかには殺されない。」

『絶対に・・・』

1：アリスの実行（後書き）

これはフィクションです。

感想などお聞かせ下さい。

我が名はアリス・・・（前書き）

感想などお聞かせ下さい・・・

我が名はアリス・・・

『——今入った情報です！ありますが元総理の八王子さんを・・・』

「まったく警察は何をやっているんだ。」

「ほんとよね〜子どもも、外にだせるもんじゃないわよね。」

「学校だったずーっと休みだし。子どもが可愛そうよ!!」

「ねえ聞いた？隣町の中学生ね、アリスに殺されたらしいよ。」

「私、田舎に行くことにしたのよ。」

やな言葉がくさるほど出てくる。

これもすべて、アリスの性だ。

今、日本は混乱している。

アリスの性で

「——え！？私が!？」

とビククリするような顔をする瀬奈。

「ええ。そうよ。瀬奈ちゃんに、お願いしたいの。」
と微笑みながら言う長谷川さん。

私は、西野瀬奈。

警察官やってまゝす

それで、今長谷川さんに、“アリス特別対策本部”のリーダーをやってくれないか？と誘いがきている。

「もちろん、あなた1人だけでやるってことではないわ。大杉桃さんと、春川千秋くんが仲間に入ってくれるから、でも、やりたくないばいいの、別に（笑）」

うふふと笑い名がら言ってくる長谷川さんは、ニコニコしながらぐっさりくる言葉を発言している。

「・・・やってみます！私じゃできないかもしれないけど。がんばってみます！」

決断をしたとき私は

不安だった。不安で心が満ち溢れている。

不安で心がいっぱいだった。

「——はじめまして、瀬奈さん。大杉桃と」

「春川千秋です。」

2人同時によろしくおねがいします・・・と言って来た。まるで、打ち合わせをしたかのように・・・

「よろしくね^^」

私は、まだ知らなかった。

本当の悪夢を・・・

「くっ！！いやあああああつあああああああああああ
あああああああ！！やめてえ！！お願いだから！！」
部屋中に、叫び声が響く。

「やめないわよ？あなたが死なないと私・・・帰れないからね」
フフフを不気味に笑う。
それは、まさに・・・悪魔だ・・・！

『帰れないから・・・』

我が名はアリス・・・（後書き）

最後まで読んでいただきありがとうございました。

『
哀れ
』

未来 前編

『それは、悪夢のバラよ・・・』
頭から離れない。

“悪夢のバラ”の意味がわからない。

「——瀬奈さん？」

桃に、名前をよばれた。

ペア——！

と目が覚めていく。

「あの・・・瀬奈さん？大丈夫でしょうか？」
とても綺麗な女性が問いかけてくる。

「大丈夫ですよ！！多分、いつもこんな感じだろうし・・・」
桃が照れくさそうにしている。

「桃！これどこに向かつてるの？」

「江見野さんえみのの家ですよ？」

江見野さんとはだれのことだろうか？
多分、綺麗な・・・

「瀬奈さん、はじめまして。江見野理恵子えみのりえこです。私も、アリスには
興味があつてね・・・色々自分で調べてたの。そして、あなた達の
“アリス特別対策本部”に来てくれてって依頼があつたのよ。だから
これからよろしくね。瀬奈さん」

自分達と同じことを考える人はいたんだ

“——このまま、アリスを捕まえられなかったら、未来がどうなっているのかしら。楽しみね”

未来 後編

「このまま、アリスを捕まえられなかったら、未来がどうなっているのかしら。楽しみね」

「——え！？こんなにたくさんもあるんですか！？」
桃が叫ぶ。

「ええ、ネットで調べまくったの。“アリス”とか“殺人”とか、そしたら、いっぱいできてね。」
ニコツと笑いながら言った。江見野さん。

「江見野さん！笑いながらやばいこと口走ってましよ！！！！江見野さん」

千秋が驚かせながら言っている。

「あら、千秋くん。あなた、ツツコミだったのね。はじめてしまったわ」

「そんなことどーてもいいですよ！！！！子どものころからツツコミ担当だったんで、僕」

ハアとため息を付きながら言う千秋。

「アリスは、死なないわ、きっと、いきつづけるわよ。あなたが心

配しなくても大丈夫よ?」

すこし、背の低い子どものような女の子。

服は、ゴシック風にされていて、とっても似合っている。

「ちがうわ。私は、^{わたくし}このままアリスさんが捕まえられなかったら・
・この先の未来は、どうなっているか知りたいの。^{わたくし}私は、アリスさんは素晴らしい人だと思うわ、革命を起こしてるわ。ねえ、アリスさん?」

ブルンと口のグロスが靡く。

髪は、やや紫色でセクシーさを表している。

みんなのマドンナ的な存在。

「ええ、私は、^{アリス}捕まったりなんかしません!!!!!!!!!!何がなんでも捕まりません」

“ 未来にむけて ”

未来 後編（後書き）

いつも、小説の方が短くてすみません><

いそがしくって（汗

時間をつれば、いっぱい書くつもりです！
↑

犯人像

「——瀬奈さん！！！！すごいことがわかりました！」
「ダー！！！！」

とろつかを走る桃。

「なにになに？そんなに走って・・・」

「アリスの犯人像がわかりました！！！！！！！！」
「ザワッ——」

まわりの声がきこえてくる。

“わかったならはやくつかまえるよ”

“いちいちはやぎすぎなのよ、あの女の子”

“なんか、こっちまでバカバカしくなっちゃうわ”

「——あのね！桃！あなたいちいちはやがないこと！まわりに迷惑がかかるでしょ！それとこれからは小声でね。」
はい、と桃はいい部屋へと案内した。

「——江見野さん？犯人像がわかったって本当？」

「ええ、本当よ。犯人はそうとうな頭脳の持ち主で、かなりの美人

よ。」

といって

ス．．．——と紙をわたしてきた。

「——!？」

「江見野さん!!これ．．．」

「ええ。すずかわしの鈴川紫乃よ、知ってるかしら?今史上最年少で大学教授し
てるといわれ今注目の．．．．．」

タイホ（前書き）

今回で最終回です。

応援してくださった方、ありがとうございました。

タイホ

「犯人像がわかった!？」

「ええ、犯人は、鈴川紫乃よ!事件の日は、絶対に大学で授業はやってない。それに、アリバイがないの……」

「証拠はあるんですか!？」

ある……と、うなずいた。

『犯人は捕まってる——!?!意味わかんないわ!なんで——?なんで、あの時征爾だったの!?!』

「・・・・・・・・逮捕します。」

「これで私の復習を終わりにします・・・・・・・・——」

“そして、新たなアリスに、託します・・・”

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0071j/>

Re：アリス

2010年10月10日05時08分発行